

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	数学・数理科学と諸科学・産業との協働によるイノベーション創出のための研究促進プログラム		担当部局庁	研究振興局	作成責任者	基礎研究振興課長 安藤 慶明	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～・なし		担当課室	基礎研究振興課			
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-8 新興・融合領域の研究開発の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期 科学技術基本計画 (平成23年8月19日 閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	情報化等により諸科学や産業界ではデータが大量かつ複雑化する傾向にあり、この効果的活用が課題となっている。またリスク評価・予測・シミュレーション・CG・暗号セキュリティ等の数学が直接使われる分野の社会的重要性が一層増大している。そこで産業界や諸科学分野において従来の方法では解決困難な課題に対して、数学・数理科学との協働による研究を促進し、新たな価値の創出を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	数学・数理科学者と諸科学・産業における研究者とが議論する場を形成し、両者の協働作業による研究テーマの設定から課題解決型研究の実施につなげていく枠組みを構築する。 具体的には、 ○諸科学分野・産業界と数学・数理科学との連携による研究会等の開催、 ○諸科学分野や産業界側から具体的課題を数学・数理科学者側に提示し数学的解決法について議論する集会の開催、 ○諸科学分野・産業界や一般向けに数学の有用性や数学的手法を知ってもらう活動等を通じて、諸科学・産業界に潜在する数学・数理科学による解決が期待できる課題(数学・数理科学へのニーズ)を発掘し、その解決に貢献し得る数学・数理科学的手法(シーズ)のマッチングを図り、その中から研究対象として有望なテーマを選出し、課題解決型研究につなげていく枠組みを構築する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	20	48	48
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	20	48	48
	執行額	-	-	14	-	-	
執行率 (%)	-	-	70.0%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	共同研究件数(件)		成果実績 件	-	-	課題解決型研究につなげるための研究会を着実に実施	5
			達成度 %	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	研究会等を開催する数		活動実績 (当初見込み) 回	-	-	10 (20)	20
単位当たりコスト	130万(円/回) ※ 1回あたりの研究会に要するコスト		算出根拠	委託費の執行額実績13百万円/10回(研究会等実施回数)			
平成25-26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0.6百万円	0.6百万円				
	委員等旅費	0.6百万円	0.6百万円				
	庁費	0.2百万円	0.2百万円				
	科学技術試験研究委託費	46.7百万円	46.7百万円				
	計	48.1百万円	48.1百万円				

事業所管部局による点検															
		項目	評価	評価に関する説明											
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)においては「領域横断的な科学技術」の1つとして、「数理学」が明記されている。当事業は、数理学の領域横断的な科学技術の特性を活かして、数学・数理学と諸科学・産業との協働を促進することを目的としており、優先度の高い事業であるといえる。											
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○												
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○												
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	委託先の選定にあたっては、外部有識者からなる審査委員会を設置、十分な公募期間を確保し、厳格な審査を実施し、妥当性、競争性を確保するとともに、単位当たりのコストの削減に努め、事業の遂行に必要な額を交付している。また、事業の実施にあたっては、支出先・使途を把握するとともに、費目・使途を真に必要なものに限定し経費削減に努めている。事業開始にあたり効果的な体制(中心機関に加え国内の8大学・研究機関と連携体制)を構築するのに時間を要し、ワークショップの公募・採択等の時期が遅れたため、結果として、不用率が高くなった。体制の構築は既に完了しており、25年度以降は改善されると考えられる。											
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○												
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○												
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○												
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○												
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△													
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	当事業の実施にあたり中心機関に加え、8機関が連携体制を構築しており、各個別機関が独自に取り組むより効果的に実施している。また、委託事業のワークショップ等の実績10回は前述の事業に効果的な体制構築に時間を要しワークショップの公募・採択が遅れたため見込みを下回った。当事業で得られた情報は広く普及・利用できるよう、ホームページ等を通じた発信に努めている。											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△												
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○												
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名												
点検結果	<p>近年、計測機器や計算機の進歩、情報化の進展に伴い、諸科学や産業界ではデータが大量かつ複雑化する傾向にあり、この効果的活用が課題となっている。またリスク評価・予測・シミュレーション・CG・暗号セキュリティ等の数学・数理学が直接使われる分野の社会的重要性が一層増大している。このような背景により数学・数理学の活用が必要不可欠となっているため、欧米・アジア諸国では関連プロジェクトや研究所創設が行なわれている。また、第4期科学技術基本計画においては、数理学等の領域横断的な科学技術の強化の必要性が明記されているところ。このような数学イノベーションの重要性が増している背景事情等に鑑みると、本事業は社会的なニーズが高く、着実な実施が必要と判断される。</p> <p>事業実施にあたっては、公募(企画競争)を通じて委託先を厳格に選定するとともに、費目・使途を真に必要なものに限定し経費削減に努めている。さらに本事業目的である、数学・数理学と諸科学・産業との協働の促進を実施できるよう、委託先である統計数理研究所と密に情報共有・連携し、きめ細かい進捗管理を行うよう努める。</p> <p>本事業については、公募・採択等の時期が遅れたため執行に遅れを生じるとともに、執行率も低く不用を出不すに至ったが、平成24年度中に体制構築を完了したことを受け、所期の目的を十全に果たすためにも可能な限り早期の執行に努めることとする。</p> <p>なお、活動実績は10回と見込みを下回っているが、本事業とは別途、事業と連動したワークショップが35回実施されている。平成25年度も引き続き事業と連動したワークショップを実施することで事業の目標達成に努めることとする。</p>														
	<p align="center">外部有識者の所見</p> <p>本事業においては、事業目的の達成に向けて、効果的な連携体制を構築し、ワークショップ等の活動を実施、得られた情報をホームページを通じて広く発信するなどの成果に向けて着実に進展していると認められる。しかしながら、体制構築に時間を要し、ワークショップの公募が遅れたことから不用率が高くなったこと、活動実績が見込みを下回ったことから、今後は所期の目的を十全に果たすためにも、可能な限り早期の執行に努めるといった改善を検討すべきである。</p>														
<p align="center">行政事業レビュー推進チームの所見</p>															
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、数学・数理科学者と諸科学・産業における研究者とが議論する場を形成し、両者の協働作業による研究テーマの設定から課題解決型研究の実施につなげていく枠組みを構築するための事業であり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 当該事業は、平成24年度決算において体制構築に時間を要し、ワークショップの公募が遅れたことから不用額が生じていることから、今後は所期の目的を十全に果たすためにも、可能な限り早期の執行に努め、計画的な予算執行に努めるべきである。</p>														
<p align="center">所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</p>															
執行等改善	<p>平成24年度において体制を構築していることから、平成26年度は早期の業務契約と執行に努める。平成25年度は既に業務契約、ワークショップの公募は完了しており、早期の執行に向けて計画に沿って着実に活動を実施していく。</p>														
<p align="center">備考</p>															
<p align="center">関連する過去のレビューシートの事業番号</p>															
	平成22年	—	平成23年	23-0027	平成24年	新24-0025									

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
14百万円

・職員旅費 0.4百万円
・委員等旅費 0.4百万円

を含む

（産業界や諸科学分野において従来の方法では解決困難な課題に対して、数学・数理科学との協働による研究を促進し、様々な課題の解決に貢献し、新たな価値の芽の創出を図る。）



【公募・委託】

A. 「数学・数理科学と諸科学・産業との協働による
イノベーション創出のための研究促進プログラム」
13百万円
大学共同利用機関法人
情報・システム研究機構(全1機関)

（数学・数理科学者と諸科学・産業における研究者とが議論する場を形成し、両者の協働作業による研究テーマの設定から課題解決型研究の実施につなげていく枠組みを構築する。）

B-1【随意契約・委託】

東海ソフト株式会社
3百万円

（作業委託
開催情報機能、報告書機能、トップ画面編集・公開機能、ニュース機能、情報統合管理とメンテナンス等）

B-2【随意契約・購入】

キャノンITソリューションズ株式会
社
1百万円

（サーバー関連用品(SATA RAID)購入）

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.大学共同利用機関法人情報・システム研究機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
受託研究費	旅費	4			
	雑務役費	3			
	設備備品費	2			
	謝金	1			
	その他(補助者人件費、消耗品費、印刷費、借損料等)	2			
	一般管理費	1			
計		13	計		0
B-1.東海ソフト株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	開催情報機能、報告書機能、トップ画面編集・公開機能、ニュース機能、諸機能統合管理とメンテナンス等業務	3			
計		3	計		0
B-2.キャノンITソリューションズ株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物件費	SATA RAID(サーバー関連用品)	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東海ソフト株式会社	作業委託（開催情報機能、報告書機能、トップ画面編集・公開機能、ニュース機能、諸機能統合管理とメンテナンス等）	3	随意契約	-
2	キャンITソリューションズ株式会社	SATA RAID（サーバー関連用品）	1	随意契約	-